



11/28 (土) みんな集まれ!!遊びの宝島

遊びを通して市民や子ども達の親睦・交流を図る「第5回児童センターフェスティバル」が市多目的屋内運動場で開催されました。オープニングでは、センターで活動する太鼓クラブが華麗なパチさばきを披露し、大人気の「ワラビンジャーション」が来場者を楽しませました。その後は、ネイルアートやメイク遊び、様々な運動器具を組み合わせる競い合うアトラクションなどの遊びコーナーが10カ所設置され、会場は思い切り遊びを楽しむ子ども達の声でにぎわいました。

11/30 (月) 内閣小学校のリニューアルに向けて

内閣小学校の校舎改築工事安全祈願祭が行われました。建物の老朽化に伴い改築を行うことになったもので、昭和52年の建設以来、最も大きな改築となります。

新校舎は、「安全性に配慮し、利用しやすい動線」「多様化する教育に対応できる学習生活空間への対応」「自然環境を配慮したエコスクール」「地域に開放しやすい学校」などをコンセプトにしていて、児童生徒が楽しく健やかに学校生活を送れるように整備していきます。完成は平成23年1月末を予定しています。



完成予想図▶



11/22~23 (日) 月) 平和劇・浦和Peace★大切な「何か」を探る旅

市文化振興事業子ども演劇ワークショップ「浦和Peace『君とつなげる虹色』」の舞台発表が市でたこホールで開催されました。出演した子ども達は一般公募で集まった小学4年生から高校3年生までの68名で、約5カ月間に及ぶ稽古の成果を存分に披露しました。

今回の演劇は、浦和の塔を題材に平和と人とのつながりを描いた作品で、悩みを抱えた中学生4人が時空を超えて戦争を体験することになり、その中で自身の大切なものを見つけていくという内容です。劇中では、音楽や効果音が生演奏で行われ、ダンスあり歌ありの壮大な舞台となりました。



11/24 (火) 戸籍事務において法務大臣表彰

戸籍事務法務大臣表彰伝達式が那覇地方法務局で行われました。今回の表彰は、本市が平成12年に県内で初めて戸籍電算導入をしたことにより、県内市町村の戸籍事務の改善に大きな影響を与え、かつ、戸籍事務の管掌者として格別の熱意をもって戸籍制度の充実発展に寄与したことによるもので、九州では唯一浦添市長だけの表彰です。



12/8 (火) 安全・安心して暮らせるまちづくりを目指して

「災害支援協定」が浦添市と浦添市建設業者友の会（又吉利会長）及び社団法人沖縄県建設協会浦添・西原支部（名嘉謙支部長）の両団体と締結されました。災害の発生などによって、がけ崩れや建築物の崩壊・倒壊が起こった場合、程度によっては、市が災害応急対策を単独で十分に実施できないことがあります。この協定は、そのような災害発生時に専門的技術や資機材を有する団体の支援協力を受けて、円滑な復旧活動を実施していくことが目的です。又吉利会長は「市民の安全を守るため、両団体で協力し合い災害復旧にまい進していきます」と、あいさつしました。



11/25 (水) 浦添の風景や景観について共に考える

浦添の風景や景観について、市民・行政・専門家による地域力を活かした景観まちづくりを推進することを目的とした「景観まちづくりフォーラムinうらそえ2009」が市でたこホールで開催されました。篠原修氏（政策研究大学院大学教授）による講演「風景づくりにおいて大切なこと」があり、また、「これからの浦添の風景づくり～市民・行政・専門家の役割～」と題してパネルディスカッションも行われました。活発な意見交換と共に会場からは多数の質問が出るなど、約300名が来場したこのフォーラムは大盛況に終わりました。

大切な命を住宅火災から守る

平成23年6月1日から「住宅用火災警報器の設置」が義務付けられます。市消防本部では65歳以上の高齢者のみの世帯を対象に火災警報器を無料で設置します（詳しくは折り込みチラシをご覧ください）。

これに先駆け、秋の全国火災予防運動期間（11月9日～15日）において、前田地区内の高齢者世帯を対象に警報器の無料設置を行いました。今回取り付けた警報器は（社）全国消防機器協会から本市に配布された100個で、消防団員、婦人防火クラブ員と共に設置しました。

なお、設置申請については、消防本部予防課（☎878-3982）までお問い合わせください。

